

ともしび

院長通信

獨協医科大学病院を退院してから2回目の院長通信になります。

今年には東日本大震災、福島原発事故に続き台風12号、15号被害など国内での大きな被害が続きました。現在でもタイにおける水害が続いており、日本の経済に大きな打撃を与えています。そのうえヨーロッパ特にギリシア、イタリアを主とする経済破綻が日本にも影響し、極端な円高が進み国内輸出産業を圧迫しています。

もともと日本では、自然災害に対して復旧可能なように予算の余裕を確保していたようですが、本年は予想をはるかに超えた災害となったようです。災害が起きると直接的なボランティア活動ばかりではなく赤十字など善意団体による募金活動が活発になります。

支援にお金がかかるのは当たり前なものでありがたいことですが、今年の災害についてはこれらの募金活動だけではまかないきれぬものではないと思います。より広い支援を必要とすると思われます。一部善意団体や善意を持った人だけの支援には限度があり、できれば全国民

第033号
発行
両毛病院
編集 広報委員会

第322号 院長 秋山 一郎



からの支援が理想的だと思います。そういう意味で消費税を含めた増税収入の一部、または大部分を復旧復興にあてることは究極のボランティアに当たるのではないのでしょうか。しかし「ボランティア」の意味が「自主的な」支援活動ということからすると、全国民が支援のための増税に賛成することが必要です。税金の使い道について国民が信用し、納得できるような政策をたてることのできる内閣、国会、官僚の働きを期待したいものです。もっとも福島原発事故は自然災害だけとはいえません、多くの点で国が関与していたことが明らかであり、国民の多くが恩恵を受けていたことから考えても復旧の一部に国費を使うのはやむを得ないと考えますがいかがでしょうか。

AD/HDDってどんな病気？ その2

前回ヨ／舌の症状や診断についてお話ししましたが、今回はその対処法、治療についてお話ししたいと思います。

まず大事なのはきちんと診断をつけることで、そこから症状の評価をきちんとすることが重要です。どの程度の障がいがあり、それが社会生活上どの程度の困難さを呈しているかです。診断と状態を家族や周りがきちんと理解し、受容することがまず最初のステップになるかと思えます。この段階がきちんとなされるだけで子どもが落ち着くこともあります。これがペアレントトレーニングの一部となりますが、ヨ／舌の子どもへの対処法を周囲が学ぶことが子どもへの安定につながります。

ペアレントトレーニングについてですが、簡単に言いますとヨ／舌に対して開発された両親を対象としたトレーニングで、どうやったら子どもを怒らずに、褒め、出来ることを伸ばしていつてあげられるかというトレーニングを両親が受けるものです。先ほど書きました、これがとても大事でこれだけでヨ／舌の子どもが落ち着くことも少なくありません。ヨ／舌を含む発達障がい全般に言えることですが、本人を変えることは非常に難しいので、周りが変わるといふ発想が大事です。同じ障がいの程度でも周囲の受け入れによって、子どもの安定度は格段に違うということを知っていただければ

と思えます。これは普通の子どもの子育てにも当てはまることだと思います。

次に個々の症状ですが、多少の落ち着きのなさであればふつうの男の子であればみんなそうですし、まわりが受け入れさえすれば大きな問題とはなりません。ただそれが原因で教室にいらなくなったり、授業に集中できなくなったりするのであれば薬物療法を検討する必要があります。日本の薬物療法は遅れていて現在2種類の薬剤しか選択できません。それにまだまだエビデンスも乏しく、薬物療法の導入には不安もあるところです。しかし実際の薬の効果はあり、今まで授業中立ち上がったどこかへ行ってしまう子がちゃんと座るようにもなりますし、宿題を学校の机の中に丸めて帰ってきてしまつ子が家に帰るときちゃんと宿題をしてから遊びに出かけるようにもなります。ですので、状態に合わせて薬物療法を選択することが、その子の将来にもつながるので十分検討した上での導入が大事だと思います。

また女の子のヨ／舌は男の子のように多動は目立たず、白昼夢を見ているようだと表現されるように、授業中もぼつととしていて違うことを考えていたりします。こういった子どもにも薬物療法は適応になり、きちんと授業に集中したり、それまでであった忘れものなども目立たなくなり、また機会があれば、また続きをお話したいと思えます。それでは。

医師 中村 晃士

ザ インタビュー

デイケア7月会として日光戦場ヶ原の森林浴に参加された小山みつ子さんに突撃インタビューです！

Q まず、率直な感想をお願いします。

A 雨に降られて大変だったよ。大きな水たまりがいくつもあって、避けるのが大変だった。

Q 一番良かったことは何ですか？

A 森林浴の帰りに寄った煎餅屋さんでお煎餅食べ放題だったのが嬉しかった。美味しかったし、沢山食べちゃったなあ。コーヒーマも温かくて美味しかった。森林浴に行く途中の赤沼茶屋から小雨が降ってきたちゃったんだよね。雨が降らなければ森林浴も楽しかったのになあ。ズバリ、来年も行きますか？

A 行くかも。雨降らないといいな。ありがとうございました。



レクを楽しもう!!

当院では各病棟で、それぞれ趣向を凝らしたレクリエーションを企画し実施しています。2病棟でも、これまでにクリスマスパーティーやドライブなど季節に沿ったものや、風情を楽しむものなど、それぞれにテーマを設けレクリエーションを行っていました。

今年度も、年度初めに患者さんにアンケートを行い、患者さんの意見を生かしたレクリエーションを企画しました。

7月は『観て楽しむ』をテーマに、映画鑑賞会を行いました。こちらは病棟ホールに大型スクリーンを設置し、迫力ある映像で映画を楽しみました。8月は女子病棟ならではの『整容と美』をテーマに、院内行事である盆踊り大会に合わせてネイルアートとメイクアップを行いました。盆踊り大会前日にネイルアート、当日にメイクアップと皆さん思い思いのセンスでメイクを行い、盆踊り大会に華を添えていました。9月は『食欲の秋』をテーマに、ファミレスツアーとフラワーパークへのドライブを行いました。こちらは、もちろんテーマに忠実に、思う存分食を楽しんできました。

このように、レクリエーションは『共に楽しむ』ことが目的であり、これから患者さんも職員も共に楽しめるような企画を立てていけたらと思っています。

看護師

8月会、思い出の仮装

8月会で私達デイケアメンバーは、群馬県沼田市にあるロックハート城へ向かった。

途中に立ち寄ったビードロ館では、ピアスを買って後悔しなかった。

ロックハート城では、女性スタッフと男性メンバーが共に、かつらをして写真を撮っていた。私もスタッフと一緒に写真を撮りたかったなあと思ったけど、スタッフが場を盛り上げてくれて楽しく過ごす事が出来た。その後宝石探しという小さなパワーストーンを探すという地道な作業が意外にももしろかった。

8月会は途中から雨に降られてしまっただけ、良い思い出となった。行くのを迷っている私に、一生懸命に誘ってくれたスタッフにありがとうございました。

DCメンバー横塚 菜穂子



遊楽々館でのひととき

8月31日、虹の里で月1回のレクイメントとして遊楽々館(栃木県岩舟町)へ行きました。病院からそれほど遠くなく、気楽に楽しめる入浴施設ということで、メンバーさんも楽しみにされていた様子で、おにぎりを握って持つて行くという企画をたて、ほとんどのメンバーさんが参加されました。

遊楽々館では、広い座敷があり、休憩スペースとなっています。通常はそこでゆったりと昼食をとるのですが、今回、遊楽々館が主催するカラオケ大会が行われており、たくさんの人たちでにぎわっていました。数名に分かれて座り、おにぎりや唐揚げの昼食をいただいた後、ゆったりとした時間を過ごしました。

座敷は人でたくさんでしたが、お風呂はそれほど混んではおらず、メンバーさんも「大きなお風呂はいいですね」と笑顔で話されていました。

遊楽々館に来るたびに、百円で一曲歌えるカラオケを皆さんで楽しむのですが、カラオケ大会のため歌うことができません。多くのメンバーさんは残念がっていました。そんな中でも、また来たいと言ってくれたメンバーさんが多かったのでまた企画していきたいと思っています。

心理技師

グルメツアー「ステーキ編」

9月13日、残暑厳しくスタミナをつけるには、もってこいの3病棟恒例グルメステーキツアー、足利市の『けん』に行つて来ました。

サラダ、デザート、カレー食べ放題。着席するなりお皿を持ち、トマト、レタス、きゅうり等見慣れた野菜やカレーをひとしきり食した後、ステーキの登場で患者さんの瞳もキラキラ。ナイフとフォークを使い器用に口に運んでいました。皆さん「牛肉はうまいよね」とご満悦の様子でした。最後にデザートを食べましたが、ライチだけは「固くて食べられない」と。食べ方を説明すると「プリプリで寒みみたいだね」とにっこり。落ち着いた雰囲気です。食事ができたステーキツアーでした。

食事の後は関東平野を一望でき山の中腹に位置するパワースポットの織姫神社で息災を願い、帰路に着きました。リーズナブルなのに気分は贅沢な1日でした。

アシスタントナース

毎



年

夏の夜の風物詩

恒例の盆踊り大会が、今年は8月2日に行われました。

空模様を気にしながらの開催となり、踊り始めは雨に降られることもなく、普段の姿とはうって変わった浴衣姿の患者さんと職員とで1年ぶりの盆踊りを楽しむことが出来ました。何曲か踊った後に雨が降り始めてきたため、予定を変更して両毛八木節の演奏になりました。私もメンバーの1人として演奏しましたが、雨の中でも「楽しみにしていたから」と最後まで聴いてくださる患者さんがいて、とても嬉しかったです。

その後は、花火を見ながらスイカを食べておひらきとなりました。雨が降ってしまい残念でしたが、湿った夜空にナイアガラの花火が映えて、少し寒いながらも夏を感じる良い一夜となりました。

事務



【外来診療のご案内】

診療科目 精神科・内科

受付時間 初診 午前 8:45~11:30
再診 午前 8:45~12:00
診療時間 午前 9:00~12:30
(専門外来 毎週水曜日 午後 2:00~)

- * 外来診療 月~金・第3土曜日(第1・2・4・5土曜日の診療は、電話にてお問い合わせ下さい。)
- * 外来診療は予約制になっておりますので、初診の方も事前にご予約をお願い致します。その他、ご不明な点がございましたらお問い合わせ下さい。

外来担当医師表

1 児童・思春期・発達障害専門外来

毎週水曜日の午後に行っています。18歳未満で下記のようなお子さんが対象になります。情緒不安定・不登校・問題行動がある・幼稚園、保育園、小学校などで発達障害を指摘されたなど、診察を希望される方は、電話にてご予約下さい。

2 内科診療外来

毎週火曜日 秋山佳子医師

	初診・当日受付	予約再診	予約再診
月	岡安 寛明	秋山 伸恵	高山 晃司
火	秋山 伸恵	秋山 一郎	山本 卓二
		秋山 佳子 2	
水	岡安 寛明	中村 晃士 1	秋山 伸恵
	秋山 佳子		
木	山本 卓二	秋山 一郎	杉原 亮太
金	高山 晃司	秋山 伸恵	
土	岡安 寛明	岡安 寛明	

【交通のご案内】

* 自動車でお越しの方

佐野田沼IC(北関東自動車道)より7分
佐野藤岡IC(東北自動車道)より15分

* 電車でお越しの方

佐野駅(JR・東武)よりタクシーで5分
堀米駅(東武)より徒歩7分

【編集後記】

当院では毎月患者さんを中心とした多くの行事が企画され行われています。広報委員会では行事に参加した方に原稿の依頼をしています。『ともしび』が毎回発行出来るのも、皆様のご協力があるものと広報委員一同感謝しています。

早いもので今年も残り2ヶ月となりました。11月に入り山々の紅葉も始まり秋も深まりつつあります。朝晩の寒暖の差が激しい時期、皆さん体調に気をつけて下さい。

医療法人 秋山会

R 両毛病院

〒327-0843 栃木県佐野市堀米町1648
TEL 0283-22-6150 FAX 0283-21-6159
ホームページアドレス <http://www.ryoumoubyouin.jp/>
<広報委員会> 田名網 石橋

